

平成24年第9回定例会一般質問通告書

通告1番 三浦清人 議員

質問方式 一問一答方式

1件目

質問事項 防災対策について

質問の相手 町長

質問の要旨 1 女川原発有事の際の避難計画を早急に策定せよ。

2 災害避難道路の整備を急ぐべき。

① 田の浦・上の山地区から国道に通じる路線

② 名足・北の沢から国道に通じる路線

③ 大磯線から未来道に通じる路線

④ 未来道は町が管理すべき。

2件目

質問事項 防集移転事業について

質問の相手 町長

質問の要旨 1 土地の借地料を20年～30年間無料にすべき。

2 戸倉地区の産廃の調査を急げ。

通告2番 大瀧りょう子 議員

質問方式 一問一答方式

1件目

質問事項 新公立志津川病院の基本計画は

質問の相手 町長

質問の要旨 地域医療の中心を担う公立志津川病院は、27年度には、新病院として診療が開始される。次の点を伺う。

1 診療内容と病院の規模は。特に人工透析の設置の考えは。

2 医師・看護師・医療スタッフの確保対策は。

3 今後の医療圏の考えは。

2件目

質問事項 福島第一原子力発電事故後の町の対策は

質問の相手 町長

質問の要旨 昨年3月11日に発生した東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故は、放射線汚染が広がり、県内の産業や県民にも深刻な影響を与えている。本町においても、子どもの健康への影響、農水産物や観光への風評被害など深刻である。次の点を伺う。

- 1 放射線対策は万全か。
- 2 風評被害の対策は。
- 3 学校給食の食材の検査は。
- 4 災害防災計画の具体策は。

通告3番
質問方式
質問事項
質問の相手
質問の要旨

菅原辰雄議員

一問一答方式

旧志津川市街地、商店街をどう形成するのか

町長

発災後、住まいは高台へと旧志津川市街地の人々は大きく周辺3カ所に分散移転する計画である。結果、震災前のような市街地、商店街形成は難しいものとする。活力ある、住んでみたい町づくり、にぎわいのある町再生への必須条件である市街地、商店街形成をどう捉え、どのような方策で臨んでいくのか伺う。

通告4番
質問方式
1件目
質問事項
質問の相手
質問の要旨

千葉伸孝議員

一問一答方式

町職員特別採用枠で人口流出阻止を

町長

平成24年度は初級9名の職員を採用している。平成25年度の採用は初級5名とその他民間実務者3名、高台移転に伴う用地事務が任期付きながら10名の募集となっている。

町職員の再任用を平成24年度までとし、その報酬額の分を任期付きであっても、多くの若者の町職員雇用に町は取り組むべきと思う。殉職を免れた職員の育成や、長引く高台移転の人口流出対策など、町職員としての被災者雇用は長期化する町再建の体制作りとして欠かせない。町民にとっても安心・安定した就職の場でもある。

南三陸町の存続が今語られている中で、多くの団体からの派遣職員は20%以上を占めている。通常職員の人数体制から、町民雇用の増員を図り、行政と町民が一体となり、町の再構築を図るべきと思うが、町長の考えは。また、町民の働く意欲の向上に今、何かが必要と思い、町としての対策を伺う。

町民の希望する雇用の場所が早急にできないのなら、町がその場をつくるべきと思う。町長にこうした提案をする。

2 件目

質問事項 新設公立志津川病院に透析施設を
質問の相手 町長

質問の要旨

現在、志津川・歌津地区での透析患者は、150人前後いるという。今後、南三陸町の被災地においては生活習慣病による糖尿病患者の増加と進まぬ高台移転により若者の流出があり、高齢化が加速する町となり、透析を必要とする町民人口が増すと予想する。こうした町の状況に病院施設の透析部門の完備が求められる。

平成27年4月から開業を予定する「公立志津川病院」に透析治療施設の設置の考えはないのかを町長に伺う。

通告5番

質問方式

山内昇一 議員

一問一答方式

1 件目

質問事項

高台移転に再生可能エネルギー導入支援で早期実現と活性化の創造を

質問の相手

町長

質問の要旨

高台移転の全町に住宅の早期着工を促進させ、再生可能エネルギー導入で、さらに安全・安心な復興社会を構築するため以下について伺う。

- 1 本町の高台移転の特色は。
- 2 町民の早期着工を推進させる方策は。
- 3 再生可能エネルギー等導入を考えているか。
- 4 本町の実証実施のバイオエネルギー導入は若者雇用につながり、定住化対策にもなるが導入の予定は。

2 件目

質問事項

新しい歴史のスタートで集落に新名称と行政区割の再編は

質問の相手

町長

質問の要旨

大震災後の高台移転で新規の集落や市街地の形成が期待される。町民に親しまれ、各地域にふさわしい名称と新行政区割で今後の町づくりをどう進めるのか伺う。

通告6番

質問方式

星喜美男 議員

一問一答方式

1 件目

質問事項

住宅再建支援策について

質問の相手

町長

質問の要旨 東日本大震災から1年6カ月が経とうとしている。しかし、津波により住宅が倒壊・流出し仮設住宅で暮らす被災者が普段の生活に戻れるには、まだまだ長い年月を要するものと思う。

町の復旧・復興を促進するには、まず、最も住宅再建の可能性が高い、自立再建を目指す人への支援環境を整えて、着実に町を形成していく必要があると思うがどうか。

また、被災県・被災市町では、次々と独自の支援策を打ち出してきた。しかし、支援策にはばらつきがあるので、財政力によって格差が生じることのないよう、被災地が県・市町村の域を越えて一丸となり、国に支援を求めていくべきと思うがどうか。

2 件目

質問事項 風化防止策について

質問の相手 町長

質問の要旨 東日本大震災の発災後は、しばらく海を見るのも海に近づくのも怖かったのが、1年半も経つと、一人で夕方でも、誰もいない海へ平気で船を乗り出すまでに恐怖心が薄らいでいることに、確実に風化が始まってきているものと強い恐怖を感じている。あれだけの未曾有の被害を被った我々が、あの教訓をしっかりと後世に引き継いでいくのが我々の責任であり使命であると思う。そこで、今後どのように風化防止に努めていくのかを伺う。

通告7番 高橋兼次 議員

質問方式 一問一答方式

1 件目

質問の事項 公立病院建設計画について

質問の相手 町長

質問の要旨

- 1 新病院の経営方針を伺う。
- 2 町民のための診療体制をどう考えているか。

2 件目

質問事項 公営住宅整備と避難道について

質問の相手 町長

質問の要旨

- 1 災害に強い住宅建築工法導入と建設計画の進捗状況は。
- 2 児童、生徒の避難道を早急に確保すべきと思うが町長の考えは。

通告8番	鈴木春光議員
質問方式	一問一答方式
1件目	
質問事項	高台移転と国道の在り方、避難道の造設は
質問の相手	町長
質問の要旨	<p>南三陸町志津川地内市街地の高台移転候補地の埒らない見方から仮設住民被災者に焦りや苛立ちが、町から離れることにある。</p> <p>高台移転と最も関わりのある国道（45号・398号）は、既存道路への土盛りや嵩上げで将来に禍根を残さない、好ましい道路の姿なのか、未だ造らない避難道の必要性はどう考えているのか伺う。</p>
2件目	
質問事項	町内小中学校の統合再編について
質問の相手	町長、教育長
質問の要旨	<p>昨年3月11日の東日本大震災から1年6カ月、被災した小中学校施設の早期再建、復活が望まれる。子どもたちが安心安全に学べる校舎の提供と併せ、仮設校舎でなくさらなる再編統合を検討すべきと考えるが、町長、教育長の考えは。</p>
3件目	
質問事項	脱原発と新エネルギー政策について
質問の相手	町長
質問の要旨	<p>福島原発第1号機を始めとする爆発が、未だ拭い去ることができず、汚染処理、がれき処理、風評被害で人命を苦しめ社会生活に大きな影響を及ぼしている。脱原発の考えと新エネルギー政策の考えを伺う。</p>
通告9番	小山幸七議員
質問方式	一問一答方式
質問事項	漁港、船揚げ場、岸壁（物揚げ場）の今後の見通しは
質問の相手	町長
質問の要旨	<p>ばなな漁港の一部（名足・中山地区）、津ノ宮、水戸辺、平磯、袖浜等は先に入札があり事業決定したが、他の港は何時入札、何時から事業が始まるのか。</p>